

令和2年 10月31日 土

12:00開演(11:20開場)

- 正面席 7,000円
- 中・脇正面席 6,000円
- 25歳以下 1,500円

(照の会、ちかの会 会員は一般入場料より各1,000円引)

浦田保親

照の会  
大阪公演  
ちかの会

上田拓司

次の時代のために



能

蝉丸 SEMIMARU

替之型  
琵琶之云衣

能

鞍馬天狗 KURAMATENGU

舞囃子

天鼓

狂言

萩大名

令和2年度文化庁芸術祭参加公演



●主催:照の会(夙川能舞台瓦照苑)・ちかの会

大槻能楽堂

### 大槻能楽堂

大阪市中央区上町A番7号  
Tel. 06-6761-8055



#### アクセス

##### 電車で・・・

- 大阪メトロ「谷町4丁目」下車(10)番出口南へ約300m東側
- 大阪メトロ「谷町6丁目」下車北出口約300m

##### バスで・・・

- 大阪シティバス「国立病院大阪医療センター」下車南へすぐ
- 「大阪駅前」から62系統「住吉車庫前」行乗車
- 「あべの橋」(天王寺)から62系統「大阪駅前」行乗車

安心してご観覧いただくために  
新型コロナウイルス感染拡大予防対策に  
努めてまいります

- ご来場の皆様には、マスク着用・手指消毒・来場者記帳をお願い申し上げます。
  - 感染拡大予防策として、自由席を取りやめ、全席指定席とさせていただきます。
  - 会場内での大きなお声での会話、握手などお客様同士の接触はお控えください。
  - 係員はマスク着用でご対応させていただきます。
  - 休憩時間の際の換気、また、公演中にロビー等の消毒を行います。
- ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

#### お問い合わせ・お申し込み

- ◆ 照の会(夙川能舞台瓦照苑) Tel. 0798-55-7362 / Fax. 0798-55-7363  
E-mail. terasu@kanshou.com HP. http://www.kanshou.com  
〒662-0063 西宮市相生町10-11
- ◆ ちかの会 Tel. / Fax. 075-723-7764  
E-mail. info@urachika.com HP. http://www.urachika.com  
〒603-8084 京都市北区上賀茂土門町30-3

#### 出演者プロフィール



##### 上田拓司 (うえだたくし)

昭和34年 上田照也の次男として神戸に生まれる。  
父・照也及び大槻文蔵に師事。  
昭和36年 仕舞「養老」にて初舞台。  
平成 7年 第1回「照の会」を開催。  
平成11年 夙川能舞台「瓦照苑」設立。  
平成18年 神戸ブルーメール賞を上田兄弟会にて受賞。  
平成20年 文化庁芸術祭新人賞を受賞。  
平成24年 文化庁芸術祭優秀賞を受賞。  
令和元年 兵庫県功労者表彰。  
・夙川能舞台瓦照苑 代表  
・株式会社上田親正会能楽堂 取締役  
・重要無形文化財総合指定保持者



##### 浦田保親 (うらたやすちか)

昭和42年 浦田保利の次男として京都に生まれる。  
父・保利及び大槻文蔵に師事。  
昭和45年 仕舞「春栄」にて初舞台  
昭和52年 能「翠々」にて初シテ  
平成 4年 観世流準職分取得  
平成 7年 「道成寺」初演  
平成 7年 心琳の会結成 20年まで活動  
平成24年 第一回「ちかの会」を開催  
平成30年 大阪文化祭奨励賞を受賞  
・公益社団法人 京都観世会理事  
・一般社団法人 京都能楽会理事  
・重要無形文化財総合指定保持者

### 照の会

#### 2020年度|会員募集

- 会費 1,000円
- 特典 瓦照苑主催の催しでの特別価格。

照の会 神戸・大阪公演 / 一般価格より1000円引き。  
<一般価格> 神戸公演 / 席指定無 6000円・席指定有 7000円  
大阪公演 / S席7000円・A席6000円・B席5000円  
素謡会・舞囃子の会 / 500円引き <一般価格2000円>  
・照の会 神戸・大阪公演入場券先行予約、その他催しのご案内。  
(一般の販売より先にご予約を承ります)

※会員は入会・更新日より一年間有効。  
照の会神戸・大阪公演の子ケットも合わせてお申し込み頂けます。

「ゼロから始める大人の謡曲」  
「ゼロから始める大人の仕舞」 | 入門教室 随時募集中

- 時間 各40分単位
- 費用 3ヶ月 計6回分/6,600円

照の会 公演

神戸公演 令和3年 1月30日 土  
(令和2年6月14日延期公演)

能「頼政」上田拓司  
能「船弁慶」上田顕崇 他

湊川神社神能殿



令和二年 十月三十一日(土) 正午始

照の会  
ちかの会 大阪公演

於・大槻能楽堂

## 天鼓

舞囃子

浦田 親良

大鼓 山本 寿弥  
小鼓 林 大和

笛 貞光 智宣

地謡 山田 薫  
藤谷 音彌 上田 大介  
笠田 保浩 浦田 保浩  
昭雄



## 蟬丸

逆髪 浦田 保親  
替之型 上田 拓司  
琵琶之会叙

能

清貫 福王茂十郎  
興昇 広谷 和夫  
興昇 中村 宜成

大鼓 山本 哲也  
小鼓 成田 達志  
笛 市和

博雅三位 茂山七五三  
後見 武富 康之  
赤松 禎友  
地謡 大槻 裕一 笠田 昭雄  
上田 宜照 浦田 保浩  
齊藤 信輔 大槻 文藏  
藤谷 音彌 吉井 基晴

休憩二十分

狂言

## 萩大名

大名 茂山あきら

本館冠者 茂山 宗彦  
庭の亭主 茂山七五三

後見 増田 浩紀



花見ノ種児 福王登一郎  
花見ノ種児 浦崎 那禾  
花見ノ種児 橋本 衣穂  
花見ノ種児 長尾 咲良  
花見ノ種児 山本 知佳  
牛若 吉井 晟朝

能

## 鞍馬天狗

山伏 上田 顕崇  
天狗

從僧 中村 宜成  
僧 福王茂十郎  
從僧 森本 幸治

大鼓 大村 滋二 大鼓 三島元太郎  
小鼓 林 大和 笛 貞光 智宣

間

能力 茂山 逸平 木葉天狗 島田 洋海  
天狗頭 茂山千之丞 木葉天狗 増田 浩紀

後見 上田 宜照  
上田 拓司

地謡 浦田 親良 上田 大介  
笠田 祐樹 齊藤 信隆  
水田 雄悟 上田 貴弘  
深野 貴彦 浦田 保親

終了予定 午後五時過ぎ

### ご挨拶

まずもって、いつもお運び頂いておりませう方々に御礼申し上げます。

此の度の新型コロナウイルス禍で多くの方達が苦悶されている事と存じますが、私共も深刻な状況となっておりますが、「寿福増長の基」とあるべきと信じ、当会を開催させて頂こうと決心致しました。

どうぞご来場をお待ち申し上げます。

上田拓司  
浦田保親

あらすじ

### 能「蟬丸」

延喜の宮の第四皇子である蟬丸は、幼少期より盲目であったため、父である帝の勅命により、出家させられ逢坂山に捨てられます。前世の報いとあきらめ、博雅の三位が設えてくれた藁屋にわびしく暮らす蟬丸ですが、心の慰みに琵琶を奏する日々を送っていました。

一方、蟬丸の姉、第三の御子、逆髪は、生来髪が逆立っていたためなのか、狂乱し宮中を出走していました。京を彷徨い出て、逢坂山へやってきたところでどこか懐かしい琵琶の音に足を止めます。藁屋の外に人の気配を感じた蟬丸は声をかけ、姉弟は再会します。出会えたことを喜びつつも、互いの身の上を嘆き合う姉弟。やがて名残を惜しみながらも、逆髪は再び彷徨の道を行き、蟬丸は見えぬ目でそれを見送るのでした。

### 能「鞍馬天狗」

鞍馬山東谷の僧は、招きを受けて、平家一門の稚児を連れ、西谷の花見に出かけます。しかし花見の最中に、場にそぐわない見知らぬ山伏が現れた為、興をそがれてそのまま帰ってしまいました。そんな中、同行していた源氏の牛若丸が一人帰らず声をかけると、山伏はこれを嬉しく思い、一緒に桜の花を眺めます。そして「実は、自分は鞍馬山の天狗である。平家討伐の望みが叶うように、兵法(軍勢を率いての戦い方)を授けよう」と言って立ち去ります。

その晩、牛若丸が戦支度をして再び鞍馬山へやってくる。約束通り天狗が現れます。漢(古代中国)の張良の故事を引いて牛若丸の素直さを称え、天狗の兵法を伝授します。やがて別れの時、牛若丸が天狗の袂にすがると、天狗も名残を惜しみつつ、将来の守護を約束すると言い残し、消え失せてしまいました。

### 狂言「萩大名」

訴訟のため、長らく都に滞在していた遠国の大名は、近々帰郷することになり、名残りに遊山に出かけることに。太郎冠者に相談すると、萩が見頃の庭園見学を勧められますが、その庭の主は風流人で、客人に歌を所望すること。ところが大名は和歌の才がないので、太郎冠者は一計を案じますが…。